

黒河(くろこ)の会便り 第 23 号

◆第 2 回雑事登り

1 月 2 3 日 国史跡の認定を受けた黒河道を、高野山奥之院御供所に向けて、100名を超える参加による第 2 回雑事登りが実施されました。



(定福寺での安全祈願)

秋深い道程では、小雨降るなか 道も滑りやすくなっており心配していましたが、雨の止み間も多くあり、夕暮れ迫る午後 4 時半には予定時間どおり御供所にお納めすることが出来ました。地元での具材集めにご協力頂きました皆さま、有難うございました。



◆賢堂 中本邸での接待

1 2 月 6 日、橋本市民会館にて開催された

「黒河道国指定記念シポジウム」に先立ち、

講師としてお招きした村上保壽氏（高野山大学名誉教授）水田義一氏（県立紀伊風土記の丘館長）、高須英樹氏（県立自然博物館館長）、MBS 河田アナウンサーほか MBS スタッフの 8 名の関係者の方々を賢堂にお迎えし、昼食の接待を中本芳也邸にて行いました。



(左から 木下浩良氏、河田アナ、高須英樹氏、村上保壽氏、水田義一氏)



(中本芳也社長の挨拶、七口会池田和夫会長とスタッフ)



「はたごんぼ」で有名な農業組合法人くにぎ広場の協力にて、西畑地区ご婦人たちの心のこもった手作り「ごぼう仕出し弁当」を戴きました。地元で採れた食材はどれも新鮮で、料理はとても美味しく、先生方も大変喜んでくれました。

◆黒河道国指定史跡指定記念シンポジウム

12月6日橋本市市民会館大ホールにおいて「昔の人が歩いた高野参詣道の今そして明日を考える」と題して講演会が行われました。

MBS 河田アナウンサーは昨年9月に番組「ちちんぷいぷい」で黒河道を歩いており、今回は「古道を歩いて」と題してはエピソードも交えながらの講演となりました。村上保壽高野山大学名誉教授の「高野参詣道について」では各参詣道とその成り立ちや、高野山を囲む集落の成り立ちと生活の講演を、高須英樹県立自然博物館館長は高野山周辺の植物の分布について、木下浩良高野山大学図書館課長は黒河道と石仏の講演。最後に先生方によるシンポジウムで文化講演会を終えました。



(スタッフによる準備風景)



(河田アナの講演)

お集まり頂いた聴衆で市民会館は満席になりました。

今月の蘇風の俳句

新松子

国史跡との

語のうれし

蘇風



賢堂地区の皆様へ

本年も黒河（くろこ）会便りをお読みいただき有難うございました。来年は世界遺産としてユネスコに追加登録される事を夢見つつ、佳いお年をお迎え下さるようお祈りいたします。

黒河の会 山本 一清